

令和3年度の学校評価結果

本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 規範意識を高め、健全で活力ある校風を育成する。 2 学習習慣確立へ向けての取組を行い、学習に対する意欲向上を図る。 3 環境の美化に努める。 		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
教務部	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習に対する意欲の向上と、確かな学力の育成に努める。 2 カリキュラム・マネジメントの一環として、学習評価を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 わかりやすい授業を行うため、学習内容に適した教材（ICT機器など）を工夫したり、オンラインの学習支援の活用を図ったりして、授業改善を図る。 2 国立教育政策研究所の指針に沿って、観点別評価を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクター・大型テレビの設置場所を見直し、よく使う教室付近に重点的に配置した。Power PointやYouTubeの動画を授業で利用するなど、ICT機器の活用が進んでいる。今後は、一斉授業での使用だけでなく、生徒の考えを共有する際にロイロノートを利用して、観点別評価における「主体的に取り組む態度」の評価手段として使えるようにしたい。 2 他校と情報交換しながら、国立教育政策研究所の手引きに沿った具体的な評価規準や成績処理手順を作成することができた。観点別評価によって教員の指導や、生徒の学び方が改善するよう工夫していきたい。
総務部	<ol style="list-style-type: none"> 1 総務部関連の行事の再検討を適宜実施し、よりよい行事を運営する。 2 PTA活動を見直し、活性化させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 式典・朝礼等、総務部が関わる行事について、時期、方法などを再検討し突然の事態に備えられるようにする。 2 PTAの諸活動を吟味し、役員会、各専門委員会が活動しやすくする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 始業式、終業式については、感染症拡大防止の見地から、昨年度同様に校内放送を基本として行ったが、感染拡大が落ち着いた2学期終業式については、体育館で行うことができた。今年度は、複数の実施案を準備しておくことができたため、感染拡大の状況を見ながら適切な方法を選択することができた。来年度以降もこのようにできるとよいと考える。 2 PTA活動については、多くの活動が制限される中で、数々の工夫を施すことで、できるかぎりの活動を行っていただくことができた。年度当初の新委員選出についても予想以上に希望者があり、日頃の楽しく和やかな雰囲気での活動が伝わったのではないかと考える。今後も参加したくなるPTA活動を目指したい。
生徒指導部	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣の確立 2 学校安全の推進（交通事故の減少、情報モラル意識の向上） 3 基本的人権の尊重 	<ol style="list-style-type: none"> 1 登校指導では、制服の標準的な着こなしを指導しながら、正門前で交通整備をし、遅刻のないように注意を促す。 2 校安全の推進では、交通事故の防止、情報モラルの向上など、わかりやすい啓発方法を工夫する。 3 12月の人権週間をはじめ、機会を捉えて人権を意識させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 各学年、手厚い遅刻指導をしていただいたが、下半期に遅刻数は増加した。どのような指導に効果があるのか今後検討していく。 2 今年度は13件報告されている。多くが1年生であったため、交通安全講話だけでなく、適宜啓発活動を行っていきたい。 3 人権について、制服制作委員会でLGBTについて議論ができた。人権週間では各学年、テーマに沿って人権について意識させることができた。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進路指導部	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の主体的な進路選択を促すよう、適切な進路情報の提供や進路行事の実施を行う。 2 進学希望者に対し、1年次より学習機会の増加を図り、受験に対応できる学力を身に付けさせる。 3 就職希望者に対して、きめ細かく計画的な指導を行うとともに、新たな求人先の開拓を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の精選及び適切な時期での提供を行うとともに、行事内容の精査や実施方法の改善をし、高大接続入試改革に対応する。 2 全学年に対して基礎学力養成および受験に対応できる学力の向上を目標とした補習を行う。 3 生徒自ら進路について考えることができるよう、適切な進路情報を進路資料室に整備し、活用を促す。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 年度当初の予定に従い、進路行事を実施することができた。また、新たに実施したキャリア教育講話も、「一粒の種まき」実施前にキャリアについての考えを深めるという意味でも有意義であった。進路資料室の蔵書も大幅に増やすとともに、資料室の整理を進めることができた。ただし、どのような資料があるかの周知徹底が不十分な面もあるため、生徒・教員ともにより活用しやすくなるよう、情報提供に努める。 2 補習については、全学年を通して数多くの講座が開講され、生徒の申込者数も増加している。特に1・2年生の夏期補習には予想を大幅に超える申込があった。積極的に受講する生徒が増えたのは喜ばしいが、補習を受講することに満足せず、主体的に活用していく姿勢を養うよう指導を続けていきたい。 3 民間企業希望者には、一人ひとりの意向を考慮した上で企業情報を提供した。また、就職試験に向けて段階的に準備をさせることで第一志望の企業から内定を得ることができた。公務員希望者には、無料講習会の参加を促すとともに二次試験対策の面接練習を実施した。就職希望者には、どのような職種に就いて働いているかをイメージ化させることが、指導の効果をより上げることにつながると考える。
保健指導部	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康観察を確実に実施し、健康課題の早期発見、早期対応に役立てる。 2 生徒委員会活動を活性化させ、校内美化に努める。 3 感染症予防の対策に努める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 朝のST時、担任による健康観察を確実に実行し、観察結果の状況を学年会等でフィードバックする。 2 清掃道具を充実させ、清掃しやすい環境を整えるとともに、定期的な除草作業を行うことで校内美化を図る。 3 マスクの着用、換気の徹底、手洗いの励行、昼食時の対応について予防啓発を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康観察は、所定の時限までにファイルが戻り、ほぼ確実に実施できている。 2 大掃除ごとに美化委員を中心に清掃道具の補充・交換を行い、清掃道具の充実を図った。また、美化委員中心による除草作業を定期的に行うことで校内美化に努めることができた。 3 美化・保健委員による昼食時の放送、美化委員による換気対策を毎日実施し、感染症予防対策に努めた。生徒委員会以外の生徒も進んで取り組み、学校全体として予防啓発活動ができた。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
生徒会部	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の人間関係を集団の中で、自主的、実践的によりよいものへと形成する。 2 部活動や学校行事を安全に十分配慮して実施する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が、ホームルームや委員会活動、部活動を通じて、集団や社会に参画できる場を作る。各行事において、生徒会執行部、専門委員などが主体的に立案し、意見を出しながら多様な考えを学ぶことができるようにする。 2 熱中症や新型コロナウイルス感染症拡大防止など、生徒の安全面を十分考慮した学校行事を実施する。他校の実施例や昨年度の反省を踏まえながら先を見越した案を作成する。キャプテンミーティング、生徒議会、部顧問会議を活用して、生徒や職員との問題点や課題を共有し、よりよい部活動や学校行事を運営する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度は熱中症対策などをふまえた持続可能な行事運営の観点から、体育大会は6月7日に決定している。4月から準備時間があまりない中で、委員会や各部活動に適切な業務を与え、生徒が集団で協力し合える環境づくりや、生徒の自主的な活動を助長できるように今年度のうちに、可能な限り準備、適切な役割分担を検討しておく。 2 今年度、感染症対応のため、実施できなかった学校祭の内容は学年合同LTという形で、実施したのもあった。令和4年度は文化祭の中で全体鑑賞の場を設けるようにし、平素の活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高める場としたい。
図書部	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校における学習・資料センターとして、生徒や職員の利用しやすい環境作りを心がける。 2 生徒の図書館利用を促し、読書に目を向けさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 図書選定、広報活動、環境整備を展開し、学習・資料センターとして機能できるように、資料や環境の充実・整備を進める。 2 新入生に対し図書館オリエンテーションを行い、図書館の資料を紹介し、図書館の利用方法を案内する。 3 読書感想文コンクールを行い、読書の機会を与える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 秋の読書週間に合わせて、古本譲渡会を行った。また外国人講師による、文化講演会も実施した。 2 昼放課の黙食を呼びかける保健・美化委員の放送に呼応して、図書委員からも、図書に関する広報放送を行った。入館者数と貸出冊数は、微増に留まった。 3 生徒の長文の読解力と語彙力を増やすために、「今日の読み物」を発行した。読書の意義を啓発し、実践させる取り組みがなお一層必要だと感じた。
教育相談部	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒自身の問題解決を促す相談活動を行う。 2 ケースに応じ、校内支援体制を整えたり、外部機関との連携・協働を図ったりする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 担任・養護教諭・相談担当・スクールカウンセラー等、ケースに関わる校内関係者間の情報共有や連携をサポートする。学年会等の機会を利用し、教員同士の情報共有を行う。 2 学校生活に関するアンケートを行った後、面談を行い、今後の対応を協議して、生徒の支援体制を整える。ケースに応じ、外部機関との連携・協働を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 担任が相談室を業後に利用して生徒の話を聞いたり、保護者との面談を行ったりしたことで、相談室への生徒の敷居が低くなったと感じる。相談係も同席することで、生徒の問題を連携しながら考えられる場となった。今後も業後の相談室はこの形で運用していきたい。 2 学校生活に関するアンケートから、担任面談、保護者会前に委員会へという流れが定着してきている。アンケートの内容を適宜状況に合わせて変更しながら、この形で続けていきたい。アンケートだけでなく、相談内容の守秘義務には今後も注意を払い、生徒の考えを尊重する対応をしていきたい。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>教職員の 健康管理 (教頭)</p>	<p>1 長時間労働の抑止 2 業務の見直し</p>	<p>1 通常授業日の午後8時施錠の徹底を図る。式日や考査期間の定時退校を図る。 2 時期や分掌による業務の偏りを平準化する。</p>	<p>1 前年度と比較して在校時間を平均で一人当たり1月約9時間減らすことができた。 2 コロナウイルス感染症の感染状況によって、在校時間に大きな変動がみられた。やむを得ない部分もあるが、この状況も3年目なので業務の平準化をさらに進めていきたい。</p>